

化学

環境創造センター 研究部

平成29年度採用

職歴

H29～ 生活環境部 生活環境総務課

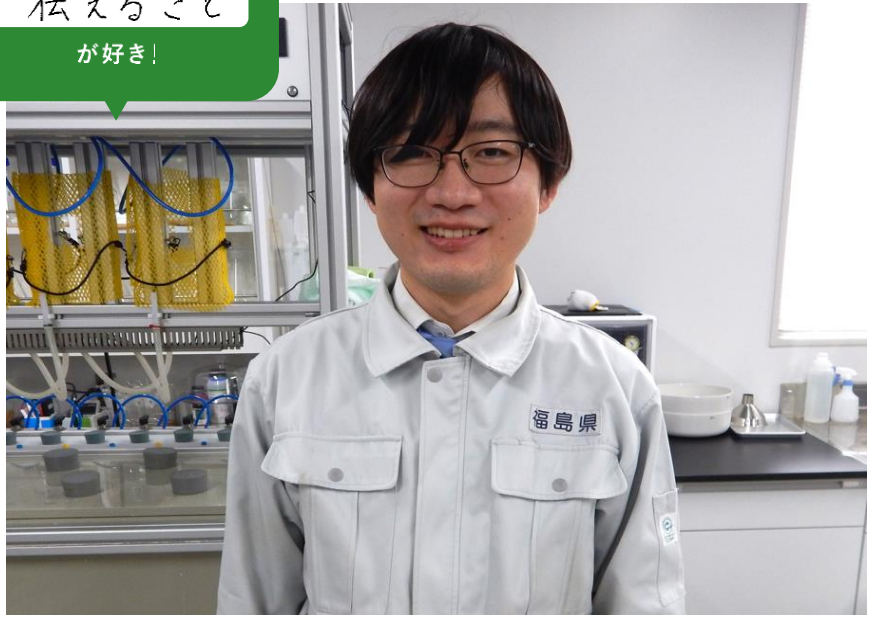
R2～ 生活環境部環境創造センター
総務企画部

R5～ 生活環境部環境創造センター
研究部

私は

伝えること

が好き!



わたしを表すKEYWORD

#育児奮闘中

子供が2人おり、下の子は1歳になったばかり。上の子は習い事をはじめました。大きく生活が変わり、大変なこともありますが、楽しさや充実感もひとしおです。

#初段を目指して

コロナ禍で、家にいながら楽しめる将棋が趣味になり、初段を目指しています。息子もルールを覚えてくれたので、今は二人で取り組んでいますが、すぐに抜かされてしまいそうです。

#ラーメン店巡り

#バドミントン

#スポーツ観戦

美しく豊かな福島環境を守り、 創り、伝える

放射線計測技術の研究に関する業務、特に、トリチウムなどの放射性核種の分析手法について研究しています。

実験を通して様々な知見を得ることもさることながら、イベントなどの機会に研究の内容や成果を県民のみなさんに少しでもわかりやすく伝えることもやりがいの一つです。

県職員を目指した理由

震災の年に県外の大学へ進学しましたが、漠然と「福島に戻ってきたい」と思っていました。

就職活動の中で、福島県の化学職を募集していることを知り、自分が学んだことを福島の復興に少しでも活かすことができるかもしれないと思い、志望しました。



←分析試料を
採取する様子

とある一日のスケジュール

- 8:30 始業・メール確認など
- 9:00 資料作成
- 12:00 昼休み
- 13:00 分析用試料採取
- 17:00 採取試料の計量・保存
- 17:15 終業

自身の職種の魅力・面白いところ



「環境」に関する多様な業務に携わることができる点です。水や大気、放射線のモニタリングや、気候変動対策、廃棄物対策、さらには人材育成、情報発信など、福島のために取り組むべき課題に、様々な形で関わることができます。

← 試料を前処理する様子

今までの県職員の業務の中で、印象に残った経験

環境創造センター総務企画部で担当した人材育成に関する業務では、高校生が「福島」を学び、自分の考えや思いを発信する力を身につける講座の運営に携わりました。参加者の高校生たちは最後に学んだ成果を自分の言葉で発信するのですが、その言葉のひとつひとつが心に響きました。

「伝えること」の重要性に気付かされるとともに、業務に励む原動力になっています。



↑ 成果報告会で発表する様子

福島県職員として実現したいこと、目標としていること

東日本大震災から14年が経過し、福島環境は着実に回復していますが、今も根強い風評が残っています。このような風評をなくすためには、福島環境を回復させ、守っていくことも当然のことながら、美しく豊かな自然環境を創り、そして、それらを広く、わかりやすく伝えていくことも重要だと思いますので、その実現の一助になれるよう励んでいきます。